



『HTBエネルギー別府温泉保養ランド発電所』運転開始について



HTBエネルギー株式会社（長崎県佐世保市・代表取締役 早坂昌彦）は、大分県別府市で建設を進めていた地熱発電所「HTBエネルギー別府温泉保養ランド発電所」を完成させ、9月12日より運用を開始いたしました。同発電所は、別府市大字鶴見の「別府温泉保養ランド」（カッタコーポレーション瑞宝・首藤加代社長）の泉源の余剰蒸気を活用し、バイナリー方式で発電を行います。余剰蒸気を活用するため環境負荷がゼロで、CO₂なども排出しないクリーンな発電所です。





HTBエネルギー株式会社は、再生可能エネルギー等の新規電源の開発・保守・運用と、電力の小売事業を展開しています。今後も引き続き、ノウハウと実績の蓄積を通じてクリーンな新規発電事業の拡大を目指していきます。

記

【HTBエネルギー別府温泉保養ランド発電所 概要】

- 所在地 : 大分県別府市大字鶴見 1166 番地 4
(別府温泉保養ランド敷地内)
- 発電方式 : 蒸気による地熱バイナリー発電方式
- 熱源 : 温泉蒸気 (旅館の余剰蒸気) 102℃ 1.2t/h
- 発電機 : MB-70H KOBELCO
- 発電規模 : 発電端 45kW 送電端 33kW (定格 70kW)
- 年間発電量 : 28 万 kWh (予定)
- CO₂削減効果 : 162.12t/年※



※温室効果ガス排出量算定用排出係数代替値 0.000579 t-CO₂/kWh×28 万 kWh

以上